

<ケース記録例>

作成日：平成 年 月 日

作成者：

◇ 実施期日： 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分

◇ 実施場所：

◇ 相 談 者：

◇ 対応キャリア・コンサルタント名：

【相談内容と対応（重要部分は逐語にて）】 ←相談者の発言を中心に、相談者に影響を与えたキャリアコンの発言等はどちらの発言か分かるように、面談全体の流れが客観的に他者に分かるように工夫して書く（キャリアコンの推測や判断等はここには書かない）（1～2P程度。特に相談者の問題の根拠になる発言や変化の根拠になる発言。自分が解決に為に実施した質問やアドバイスとその時のクライアントの返答等は意識してできるだけ記入する）

【キャリア・コンサルタントの見立て】 ←キャリアコンの推測や判断等を書く（面談のどのタイミングで思ったかを連動させるために*1、*2等指示する）

1. 相談者の問題

<相談者がもっとも強く訴えた問題（相談者視点）>

・

・

<キャリア・コンサルタントとして上記以外に感じた問題（キャリアコン視点）>

・

・

2. 相談者の変化（面談前と後とでどういう点が変わったか？）

・

・

3. その他（自由記入）

・

・